



ティムコ<7501>、中国投資会社Capital NutsによるTOBを発表



中国の投資会社Capital Nuts（厦門果投管理有限公司）系の堅果シナジー投資事業有限責任組合（東京都千代田区）が、フィッシング用品やアウトドア用品を手がけるティムコの株式をTOB（株式公開買い付け）で取得し、経営に関与することで経営体制の整備と企業価値向上を図る。Capital Nutsの海外ネットワークやデジタルマーケティングの知見を活用し、越境ECや海外販路の拡大などのシナジー創出を狙う。

ティムコは本TOBについての意見表明をしていない。TOB成立後もティムコの上場は維持される見込み。

買付価格は1株につき1900円で、公表前営業日の終値1857円に対して2.31%のプレミアムを加えた。買付予定数は148万5897株で、下限は所有割合43.18%にあたる106万9351株。

買付代金は約28億2300万円。買付期間は2026年4月7日～5月22日までの30営業日。決済の開始日は5月28日。公開買付代理人はJトラストグローバル証券。

ティムコ大株主の投資会社キャピタルギャラリー（東京都港区）、同社社長の青山浩氏、大谷寛氏、保険代理業の人生設計（東京都港区）の4者は、保有する株式計70万9600株（所有割合28.65%）について応募契約を締結している。